

## 統計理解で次代を担う世代育成事業（青森県）

### 1 統計理解で次代を担う世代育成事業の目的

現代社会は、情報通信技術の進歩により、多数の情報が身近なものとなり、また、各種データの処理速度が高速になったことから、現代社会で活躍するためには、各種統計資料やそれを集約・加工した資料を活用するなど統計への理解が不可欠となっています。

このような中、教育現場ではこれまで縮小される傾向にあった統計教育について、平成 21 年度の新学習指導要領において約 30 年ぶりに拡充されるなど、現代社会で生きて行くための力として統計理解が重要と認識されてきているところです。

本事業では、現代社会で活躍するために不可欠な統計の重要性についての理解促進を図るとともに、「調べる」「まとめる」「表現する」といった統計の基本的能力が身についている人財を育成するものです。また、本県や県内自治体等が行う統計調査の意義を理解し、これに積極的に参加し、その結果を活用できる人財の育成につなげることで、統計調査への協力の意識や実施意義を高めるもの等を目的としております。

### 2 事業の概要

本事業では統計知識の普及と表現技術の研さんを図るため、昭和 40 年から毎年「青森県統計グラフコンクール」を実施しているところです。このコンクールは、「しらべる」、「まとめる」、「あらわす」といった統計の基礎を学習するのに非常に有効であり、教育委員会など関係機関の協力を得ながら継続して実施しております。

次に平成 25 年度から統計指導の充実を図る観点から青森県が主催し、青森県中学校教育研究会数学部会との共催で、小・中・高等学校における統計指導者を対象に、「**青森県統計教育セミナー**」を実施いたしております。

### 3 「第 1 回、第 2 回青森県統計教育セミナー」について

#### (1) 第 1 回青森県統計教育セミナー

①平成 25 年 8 月 1 日（木） 13:00～16:00 ラ・プラス青い森（青森市）

②基調講演 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授 渡辺 美智子 氏  
「知識基盤社会を支える統計思考力」

③事例研究 岩手大学教育学部附属中学校 教諭 佐藤 寿仁 氏  
『資料の活用』における自ら判断し、表現する力の育成に関する  
教材開発」

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 教諭 藤原 大樹 氏  
「統計的思考力の育成を目指した『資料の活用』領域の単元づくり」

④セミナー参加者は約100名

## (2) 第2回青森県統計教育セミナー

①平成26年7月22日(火) 13:00～16:00 グランドサンピア八戸(八戸市)

②基調講演 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授 渡辺 美智子 氏  
『資料の活用』領域で育みたいデータに基づいて身近な課題を発見し解決する力」

③事例研究 青森市立新城中学校 教諭 猪股 典生 氏  
『資料の散らばりと代表値』の単元づくり  
～統計的思考力の育成を目指して～

④特別講演 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部  
学力調査官・教育課程調査官 新井 仁 氏  
「数学的活動を大切にした『資料の活用』領域の授業づくり」

⑤セミナー参加者は約130名

⑥アンケート結果

セミナー参加者130名のうち100名から回答がありアンケートの集計結果の主なものとして、

教諭の97%が授業に「大変参考になった」「参考となった」と回答。

その理由としては、実践例をいくつか聞き、授業で実践したいと思えるものが見られたというような意見が多数見られた。

## 4 平成27年度「第3回青森県統計教育セミナー」開催

### (1) 開催地

統計指導の充実に向け裾野を広げるための取組として、青森県内三大都市の弘前市においてセミナーを実施。

### (2) 日時、会場

①日時：平成27年7月30日(木) 13:30～16:30

②会場：「弘前市総合学習センター」 弘前市大字末広4丁目10-1